

企業名： 日本工営

レポート名： 日本工営グループ 統合報告書 2021 年 6 月期

1. この会社が目指す姿が理解できるか

十分に理解できる。全体を通じて、利益率の向上や高い技能を持った人材の育成など一貫した目標が展開されており、何度も目にすることとなったので印象に残りやすかった。

2. この会社の競争優位性が理解できるか

十分に理解できる。自社の強みと弱み、リスクを分析したものが記載されており、日本工営の競争優位性と危惧すべき事案を知ることができた。優位性として、業界で最多となる技術士を有している点や建設コンサルティングという分野において国内で最高の売り上げを誇る点、社内でのイベントを行い企業文化の創出に励んでいる点などが評価できる。また、世界的にも事業を拡大しており、世界でも有数の建設コンサルティング会社を目指していることからさらなる成長に期待できる

3. その競争優位性に持続性があるかどうか理解できるか

十分に理解できる。まず、人的資本についてだが日本工営は人財の育成を重視している。具体的に研修やセミナーが充実しており資格への取得の学習や海外との交流などの手段が整っており、グループ内での技術士の数を継続して増加させることに成功している。中でも社内向けに開かれている NK アカデミーはオンデマンドの授業によって反復学習が可能で仕事で忙しいとしても自分の時間に資格などへの学習を積み重ねることが可能であり、効果的に社内の技術力ある人材を増やしていると考えられ、これからもさらに技術力を高める要因になることが予想できる。また、離職率は 1.8%と国内での平均がおよそ 5%であることを考えると高い水準である。女性への手厚い支援や女性の雇用を増加させる取り組みが居心地の良い職場を実現しており、従業員に対して健康や人権に関する取り組みも行われている。他にも新型コロナウイルスの影響でこ本格的なテレワークやフレキシブル出社が求められるといち早く順応し自由さを広げることでより生産性を上げることに成功している。実際に、本年度は過去最高の売り上げ、営業利益を実現している。

次に、環境への配慮について海外での脱炭素化ニーズに応え水力発電や蓄電システムなどを開発し、ベルギーなどではすでに着工している。日本工営では輩出する CO2 排出量を自社では五年間で 0.7 倍に減らしている。

最後に、現在の成長の維持についてだが、人的資本の育成により国内、そして世界でも有数の技術力の高さはこれからさらに秀でていくことが予想できる。また、長期目標として 2030 年までに売り上げ構成に占める海外での売り上げの割合を 5 割以上にすることを目標

としており、未開発の途上国などでの複数年にわたる大きな事業がグローバル化と成長に貢献することが予想できる。この実現可能性についても国外にある三十ほどの拠点から事業を拡大することで十分に可能であると思われる。

4. この会社で自身の人的資本の価値向上を達成できると思うか

私は、このような充実した環境を提供していただけるのであれば、自身の成長の機会を十分に受容できると考える。特に、入社後に社内で資格や技能に関しての知識を学ぶことができることと、自身にあった出社スタイルを取ることができる点は魅力的で、コンサルティング業務で足りない点があれば学び直したりすることで日々成長を続けられることが魅力的である。また、海外への進出に積極的であり、人材交流を推進していることから英語などを活用してグローバルな働き方をしていけることも憧れを持てる。入社後も働きやすい環境で自身の技能やスキルの育つ場を提供していただけることを考えると、私は日本工営において自信の人的資本の価値を大きく向上させることができる。また、どんな従業員でもそれは同じであると考えている。

5. 報告書にはどのような改善余地があるか

日本工営の外部環境の変化による機会とリスクというページ (31-32) において、リスクと関連する取り組みが表形式で述べられていたが、大規模災害への準備不足という項目においてインパラ等の老朽化防止事業への積極的対応と述べられていたり、事業の煩雑化と国内外の関係諸法令の重大事故発生というリスクに対して内部統制システムの強化と述べられていた。実際にはシステムが社外秘であり説明できない可能性などもあるが、どのようなシステムが用いられているのか、積極対応とは具体的にどのような対応なのか、などの説明があると、よりリスク管理が周到な企業であるという感想を持てた。

また、少し細かいが 24 ページの事業戦略、機能戦略の評価の評価が天気マークで曇りや晴れ、雲と太陽などを表していたがどの程度なのかわかりにくいような気がした。見やすさを優先するのであれば天気マークのほうが良いのかもしれないが、せめて、各段階がどの程度なのかなどを記載してほしい。

参考文献

令和 3 年上半期雇用動向調査結果の概要 (厚生労働省)

<https://www.mhlw.go.jp/toukei/itiran/roudou/koyou/doukou/22-1/dl/gaikyou.pdf>